

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和7年3月28日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4690100534
法人名	有限会社 友星メディカル
事業所名	グループホーム 中山
所在地	鹿児島県鹿児島市中山町1233番地4 (電話) 099-269-7076
自己評価作成日	令和7年1月10日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和7年3月14日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

毎日を心身穏やかに過ごしていただける様に、利用者様、ご家族様の「想い」「ニーズ」に応えられるよう力を入れて取り組んでいます。利用者様の尊厳と活力の向上を支援していく為に一人一人に寄り添ったケアを行い「出来ること」「できている事」「できなくなってきた事」「出来ないこと」を把握し協働しながら楽しく出来ない部分を入居者様と協働しながら楽しく毎日を過ごしていただいています。庭には家庭菜園もあり自分たちで育てたさつま芋をお向かいの保育園児を芋掘りに招待し一緒に楽しい芋掘りの交流を行っています。保育園児からも七夕、クリスマス会運動会の招待をもらい交流の機会を設けさせていただいています。地域の方々との交流もあり歌や楽器の演奏を行って下さり交流もあります。近所には、交番、クリニック、公民館があり非常に生活しやすい環境が整っています。内部研修や外部研修に参加し入居者様の急変時の対応方法や認知症介護について理解を深めております。また、消防局災害時の避難方法等を実際に行い入居者全員で参加実践を体験しています。家庭的な雰囲気の中で、入居者様一人ひとりその人らしく生活されています。協力病院、訪問看護との連携もとれていて安心して生活出来ている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は、幹線道路に沿ったところにあり、周辺には交番や保育園・クリニック・コンビニエンスストア・小学校等があり、利便性に富み、明るい雰囲気の場所である。
- ・家族や馴染みの関係・馴染みの場所が途切れることのない様に外出支援や行事参加等を積極的に行っている。
- ・敷地内の菜園で、芋類や色々な野菜を育てて、近くの保育園の園児と芋ほりの交流等をして、利用者にも喜ばれている。事業所の食材としても楽しく活用している。
- ・職員の意見を取り入れ、昼の休憩時間等も時間の取り方や交代時間にも配慮している。休憩場所もある。
- ・管理者は職員の個人的な働き方への相談にも心良く応じている事で、働きやすい職場づくりに積極的に取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念の中に地域の皆さんと交流することを掲げ保育園児との交流、地域行事への参加を行い交流を図っている。	事業所独自の理念がある。カウンター周辺に掲示し、毎朝唱和してケアの実践に取り組んでいる。年1回、年度末に理念を確認し振り返りを行っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に加入し回覧板と一緒に届けたり日常的に交流できるよう地域や保育園等の行事に参加させてもらったり、買い物、外食等の外出を通じ交流し、交番に行き話をする機会を設けたりしている。	町内会に加入し、地域で年2～3回清掃活動に参加している。保育園児と芋ほりをしたり、クリスマスプレゼントを交換し楽しんでいる。事業所で出来た野菜を近隣に持って行き喜ばれている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	地域行事等の際地域の方々には認知症の方を知って頂くためボランティア受け入れたり公民館にある図書館に行き本を読んだり近くのジョイフルに出かける機会を設けている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	概ね2ヶ月に1回開催し、ご家族や地域の方々に意見をいただいてサービスの向上に生かしている。そこでだされる地域の様子現状を教えて頂き入居者様の生活に生かすようにしている。防災訓練の実施報告も併せて行い安全対策も図っている。	定期的に運営推進会議を開催している。1回は書面で実施した。利用者情報や活動状況・事故等について報告し、毎回議事録を家族へ発送し、民生委員や地域包括支援センターへ持参して状況を報告して、地域や家族から情報を得ることが多く、支援に活かしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	毎月長寿安心相談センター、民生委員へホーム発行の新聞を郵送しおむつ申請時確認サイン等頂いている。高齢福祉課、介護保険課へ行き指導をいただき特に事故報告をする際改善の方法等の指導を頂いている。	役所に申請や相談で出向いたり、ホーム新聞を持参している。年1～2回の地域ケア会議に参加している。介護相談員の訪問がある。市主催の研修会はリモートや対面で参加して職員へ伝達している。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	毎月、職員会議（朝礼）の際に身体拘束委員会を開催し、日々のケアの中で身体拘束に繋がる事柄がないかチェックしている。外部・内部研修を通して職員一人ひとりが身体拘束についての理解を深めるように意識付けをしている。	マニュアルがあり、毎月職員会議時に身体拘束廃止委員会を実施し管理者会議の内容報告と同時に内部研修を毎月行っている。不適切な言葉遣いについては、管理者がその都度、声掛けや注意をしている。玄関の施錠は日中はしていない。外出希望者は、職員が声掛けをし散歩に同行したり、家族と連絡をとったりしている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	3ヶ月に一回、職員会議（朝礼）の際に高齢者虐待委員会を開催し、外部内部研修を通して言葉による虐待や入浴時更衣時にボデーチェックを行い虐待がないか確認しあっている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	成年後見人制度、自立支援制度の外部研修に参加しホーム内の内部検収にて学びを行っている。必要のある方がいらっしゃった場合は活用できるように支援を行う。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時は管理者を中心に対面で2名以上で時間をかけて説明を行っている。重要事項説明書及び契約書の1項目ずつご家族に1項目ずつ質問等はないか確認を取っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	入居者様、ご家族から意見、要望をもらえる体制として、面会時や電話時に意見要望を伺ったり出入り口への意見箱の設置、相談苦情受付者の電話番号の掲示、運営推進会議の開催を行っている。	利用者からは、日々の暮らしの中で意見や要望を聞いている。家族からは面会時や電話で聞き、毎月事業所で新聞を作成し利用者参加の行事写真と同封して家族へ発送し意見等を聞く機会づくりをしている。利用者の健康面についてのお願ひがあり対応した事例がある	
¥	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	管理者が定期的に朝礼時や個別に職員の意見を聞く機会を作っている。職員からの相談等があった場合、管理者が代表者に報告相談を行い可能な限り反映できる体制が取れている。	月1回の職員会議時や日頃のケアの中で管理者の方から聞く事もある。各ユニット会議と全体会議を交互に開催している。昼休みの休憩があり、休憩場所も確保できている。管理者へ気軽に個別の相談もしている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	職員一人ひとりの生活ニーズに応えられるようなシフトの調整、資格による手当、他の介護施設での研修等への参加のすすめ職員一人一人が向上心や、やりがいを持つよう子育て中の親でも働きやすい環境、職場作りに努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員個々が自己研鑽できるように、研修の情報提供をし、希望者には色々な研修等に参加してもらい、内部研修で報告してもらい全職員が共通理解し実践できるようにしている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>系列のグループホームへの助勢や会議などで情報交換や合同の勉強会を行っている。職員が他ホームへ助勢に行き学びの機会を設けるようにしている。」</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所前に家族や関係各所から情報を提供していただき、本人、家族と一緒に話し、見学をしていただく機会を設けている。希望があれば入居前に他の入居者様とも交流していただき雰囲気を楽しんでいただいている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	本人、家族の心配事や意向を聞き、ケアの方向性を踏まえ本人が心配なく安心して生活が送れるようこまめに声掛けや家族へのこまめな報告し関係づくりに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人、家族の必要としている要望を見極め、安心して生活ができるよう必要に応じて往診、訪問歯科、訪問マッサージ等の利用等の対応をしている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	人生の先輩として尊重した態度で接している。色々な苦難を乗り越えて来られた方々と調理や洗濯掃除等を通して教わることが多い。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>ご家族が何時でも訪問できる雰囲気づくりを大切にし本人家族がゆっくり語り合える場所の提供をし居心地の良いホームを心がけている。ご家族には、一緒に行事への参加へのお願いをしている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>居室には、ご本人の大切にしているものやなじみの物を配慮して頂いている。ご家族以外の面会があって場合関係性の確認を行い気楽に来て頂けるように努めている。</p>	<p>家族の面会はホールにて対面で行っている。家族の希望があれば居室でもできる。電話の取次ぎや手紙・はがき等の支援もしている。理美容師の訪問が2ヶ月毎にある。定期診察の利用者は、家族支援で外食や買い物ができる。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>入居者様同士がより良い関係が築けるように職員が間に入り会話がスムーズに流れるように心がけている。、落ち着く座席の配慮を心がけている。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>契約が終了しても、関係が途切れないように、連絡をとったり、他施設、病院へ面会に行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	個別に様々な思いがあるので一人一人の言葉に耳を傾けその思いを大切にしている。本音が語られるような関係づくりや日常の中での小さなつぶやき等も大切にしている	ホールでゆっくりとしている時や日頃の会話の中で思いや意向を聞く事が多い。困難時は体調やその時の表情から把握したり、生活歴を参考にしたり、家族に聞いたりして記録に残し職員間で共有し支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	センター方式等を利用し、家族や関係者から情報をもらっているが、曖昧な部分もある。本人との会話の中で、これまでの生活暦の把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個別のサービス記録、身体状況表、日誌、病院受診記録をとり、本人との会話や様子、また、バイタルサイン等で現状の状況の把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ユニット会議毎朝の申し送り時間を使い問題定義をし、より良いケアが行えるための介護計画が作成できるように日々努力している。	本人や家族に意見や要望を聞き本人のできている事、できていない事等をあげて、申し送りノートや介護記録等から意見交換を行い、主治医の意見を参考に介護計画を作成している。モニタリングを6ヶ月毎に、見直しも6ヶ月毎に、必要時はその都度見直しを実施している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別のサービス記録、日誌の活用や申し送りで情報を共有し、計画作成担当者がモニタリング・アセスメントに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	勤務時や申し送り時に、必要に応じて入居者様個別の話し合いをしており、ニーズへの対応を検討、インフォーマル含めた実践している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	感染予防地域の行事参加したり、ホーム外での行事でボランティアによるイベントを楽しむことができている。保育園の方とは訪問したりフェンス越しや窓越しでの交流をしている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居時に家族と相談の上、救急搬送時の病院やかかりつけ医を決め、月一回の受診を行い、特変、不調時にはその都度受診を行い家族への連絡、報告を行っている。又状況に応じ往診の方もおられる。	かかりつけ医継続者は家族が受診に同行している。他は協力医療機関が主治医となっている。月1回の定期受診や週1回の健康チェックのため訪問看護師の訪問がある。ホットラインで繋がりが24時間医療連携体制がとれている。歯科は訪問診療がある。他科受診は職員が同行し受診している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>現在医療連携で週1の訪問看護を受けている。怪我やバイタルサインの異常時には、訪問看護師、ホーム内の看護師や主治医に指示を仰ぎ、状況に合わせて病院受診を行う等して支援している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院先の医療機関へホームでの身体状況、既往歴、内服薬や受診経緯の報告を行い、定期的に入院先へ面会に行き、本人との面会や病院での近況報告を伺ったりカンファレンスに参加し早期退院を目指している。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居時に重度化、看取りの説明を行い。本人や家族、訪問看護師、主治医と相談を行い終末期について考えている。家族にホームで出来ること出来ない事を理解して頂き往診、訪問看護や家族と連携し本人らしい終末期のあり方について今後も本人や家族と検討していく</p>	<p>重度化と看取りの指針がある。入所時に指針に添って、家族や本人へ説明し同意書をもらっている。重度化等の時は病状について主治医より家族へ説明し家族の意向を確認して同意書を再度書いてもらって支援している。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>緊急時対応等、研修を行い実践できるよう個々でも訓練や勉強会をしている。24時間のホットライン、訪問看護師への相談できる体制をとっている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>消防署の協力を得て、年2回昼夜想定で防災・地震・水害の訓練を行っている。ミーティングでの話し合いも行う。職員、地域住民、家族への緊急時の応援の協力を得ている。近隣の方々にも有事の際は緊急時の応援の協力を依頼している。</p>	<p>年2回昼夜を想定した防災訓練を実施している。1回は消防署の立ち合いがあり昼想定で総合訓練を実施している。避難場所は1階は駐車場、2階は踊り場になっている。備蓄は米・水・缶詰・梅干し等、3日分程度。備品はカセットコンロ・ビニールシート・防災頭巾等がある。家族や地域住民へ声かけをしている。事業継続計画（BCP）は事業所で作成している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者の自尊心を傷つけないように毎日を穏やかに過ごして頂ける用の言葉かけを行っている また記録物等はプライバシーに押領した対応を行っている	マニュアルがある。年1回権利擁護・プライバシー・接遇等についての研修を実施している。外部研修等にも参加している。トイレ誘導時の声かけやトイレドアの開閉・入浴時の更衣等は羞恥心へ配慮、入室時のノック等はプライバシーに配慮している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	会話の中から思いや希望を聞き取り好きな食べ物、外出しての買い物等自己決定しやすい環境作り、声かけの工夫を行っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者一人一人のペースで過ごせるようにレクリエーションや家事・運動・外出等、本人のペースや希望・体調等を踏まえ応じて行っている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	散髪は訪問カットを頼んでいるが本人と顔なじみの関係をつくり会話を楽しみながら意向に沿った髪型にして頂いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	個人の能力に応じて、準備、配膳を職員と一緒にしている。また、個人の疾患や状態に合わせた食事形態で食べやすい食器やスプーン・箸・フォークを活用し提供している。	献立は職員が作成し、個々の食事形態にも対応している。週5日分夕食のみ外部に依頼している。行事食は手作りで、誕生日食は食べたい物を聞いてケーキも準備している。利用者と一緒に配膳等をしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	身体状況表に食事量、水分量の記入を行い、把握に努めている。疾患で制限のある方は食事量、カリウム等の配慮を行い、食事・水分の摂取量の少ない方は代替品等で補う等工夫をしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後個別の口腔ケアの見守り介助を行っている。義歯の方は、義歯洗浄剤を使用し必要に応じて歯科受診、往診をしていただいている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	自立可能な方はさりげない声かけや見守り確認を行っている。介助が必要な方は排泄パターンを把握して声掛けや誘導を行っている。自立にむけた支援を行っている。	排泄チェック表を作成し排泄パターンを把握して、日中はトイレでの排泄を実施している。リハビリパンツと尿取りパットの人が多い。安全のために夜間はオムツの場合もある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	個々の水分摂取の確認、排泄のチェックを毎日行い、ヨーグルト、ヤクルト、オリゴ糖の活用や食事内容の工夫に取り組んでいる。また主治医に報告し下剤の調整行っている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴は希望で毎日可能であるが体調や年齢を考慮して入浴してもらっている。入居者様一人ひとりの能力に応じて二人介助・一部介助や見守りを行いながら支援している。	週2～3回午前中に入浴をしているが、午後の時もある。ゆず湯やしょうぶ湯を楽しんでいる。汚染時はその都度シャワー浴をしている。拒否者は、声かけを工夫したり、職員を交代したり、曜日の変更等で対応している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	健康面にも配慮し食後すぐ横になられる事は控えてもらっている。希望に応じて好きな時に休息が取れるよう支援している。睡眠状況や疲労感を把握し個別に対応している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	受診時の記録処方説明書を確認して、朝・夕の申し送り時に報告をし、薬の用法、用量、副作用を理解し処方された薬に変更があった場合様子観察を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>カラオケ、畑の仕事、調理の補助、習字、体操、洗濯たたみ等利用者がやりたいこと出来ることを支援している。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>買い物の付き添い、散歩等利用者の希望に沿って行っている。遠方の外出、帰宅希望に関してはご家族の協力をもらい行えるようにしている。行事での外出（遠足、外食、等）を行っている。ミカン狩りコスモス鑑賞、初詣等に外出している。</p>	<p>日頃からドライブや散歩・買い物等に出かけている。年間行事計画書があり、ミカン狩りや桜の花見・初詣・外食等に出かけて楽しんでいる。定期の受診時に家族支援による外食や買い物等にも出かけている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>お預かり金があり、本人の希望に沿って使えるよう支援している。希望があればご家族様に同意をもらい職員と一緒に買い物に出かけたり外食に出かけている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>家族や友人と電話で会話ができたり手紙のやり取りができるよう、希望に沿って支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節感のある展示物を一緒に作成し飾り付けたり季節の花を花瓶に挿すなど工夫をしている。入居者様が居心地良く生活できるように、換気、室温、騒音、光に注意している。入居者の表情を見て日差しが眩しい場合はカーテンを閉めるなどの配慮を行っている。	ホールは加湿器付きの空気清浄機や遮光用のカーテン・エアコンで温度・湿度の調整をし、時間ごとに換気を実施している。季節の手作り作品や折り紙・塗り絵・書初め・行事参加の利用者の写真等を掲示している。ソファ・テレビ・畳の部屋等があり、のんびりと暮らしている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	入居者様の居室のほかにホールには自分の席があり、思い思いに過ごして頂いている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた家具馴染みの身の回りの物、テレビ等を居室へ持ち込んでもらい本人が居心地よく穏やかに過ごせるよう工夫している。	居室はベッドやエアコンの設置がある。寝具類は持ち込みで、ダンス・テレビ・ラジオ・家族写真・ぬいぐるみ・時計・冷蔵庫・ハンガーラック・鏡・孫の写真等をそばに置いて、安心して居心地よく過ごすことができる。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	一人一人の身体状況に応じて洗濯物たたみ等の座って出来る作業、調理等の立ってする作業等安全に配慮して個別に出来ることへの声かけを行い自立した生活が送れるよう支援していく。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない